

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	河川維持補修事業	会計	一般会計	事業No.	584	施策順No.	45-019
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-3-2-10-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	45 居住基盤の向上			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	準用河川及び普通河川						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		河川維持補修地区要望箇所:箇所	84	71	60	60	60		
		河川維持補修必要箇所:箇所	52	41	30	30	30		
意図	河川施設の維持補修を行い、漏水や護岸の決壊等を未然に防止し、市民の安全を確保する。								
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		河川維持補修実施か所:箇所	17	22	28	20	23	20	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		補正予算により、地元からの護岸・河床等の補修要望はほぼ対応でき、河床整理(排土)も一部の河川で施行できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	・河川施設のパトロールや関係地区からの補修要望、緊急通報等により、市内準用河川、普通河川の河川施設の維持補修工事を実施する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	河川維持補修工事	工事箇所数	23カ所
23年度実施計画	河川維持補修工事	工事箇所数	20カ所

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源	8,060	8,060	6,429	
		計(A)	8,060	8,060	6,429	
		正規職員所要時間				
		臨時職員等所要時間				
		人件費計(B)		0		
		トータルコスト A+B		8,060		

4 事業に対する市民や議会の意見

・台風や豪雨の時でも安心して住むことのできるインフラ整備の要望が多くなっている。
・維持管理に関する予算確保を議会から求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞り者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	・居住基盤の満足度：%
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	地元からの要望に基づき補修工事を行い、ほぼ対応することができた。		
	後期に向けた課題	地元からの通報・要望に早期の対応し、定期的なパトロールによる補修箇所の早期発見に努める。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	地元からの通報・要望に早期の対応することで、市民の満足を得ることができた。		
	後期に向けた課題	今後も早期の現地調査、工事発注を行えるよう努める。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	河川の管理者は市であるため、受益者負担は求めない。		
	後期に向けた課題	今後も求めない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①地元住民による河川清掃等で除草作業や危険箇所の報告をしてもらう。 ②補修工事の早期発注に努め、災害のない安全なまちづくりができた。		
	後期に向けた課題	今後も早期の現地調査、工事発注を行えるよう努める。		
全体を通じて	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題	老朽化した護岸の大規模な補修が予想される。 山林の荒廃などにより、河川内に土砂が堆積し、排土の要望が増加している。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------